

新型ACT(活性化全血凝固時間)測定機の開発

開発のねらい

現在、ほとんどが輸入品の、活性化全血凝固時間測定機は本体も測定カートリッジも高価なため、廉価で予測精度が高く、少量の血液で、短時間に測定できる国産品を開発することによって、医療機関や患者への普及を図る。

開発の概要

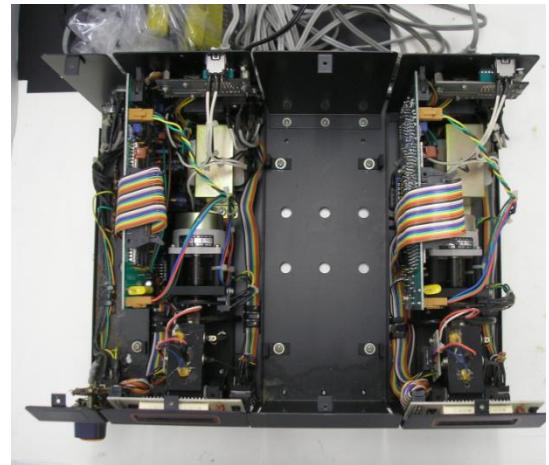
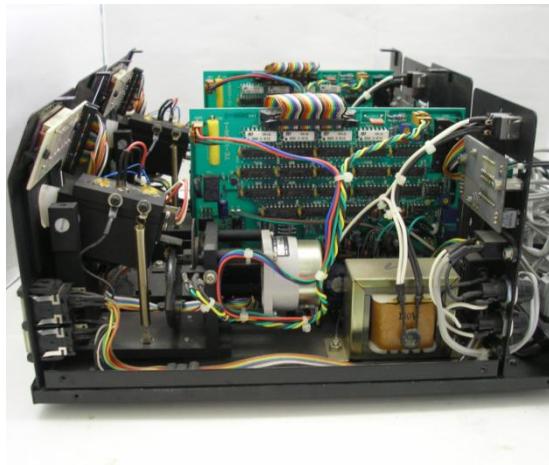
現在市販されている同等品とは異なる、新しい血液凝固時間測定方式を採用することによって、より安価で使いやすく、しかも消耗品の使い捨てカートリッジも安価な製品を開発する。

特長

- ・少量の採血量で測定できる。
- ・計測時間を、現在の市販品より短くする。
- ・計測者の使い勝手の良いものにする。
- ・消耗品である測定カートリッジの単価を下げる。

用途

病院の循環器内科、麻酔科・心臓血管外科等の手術室、集中治療室での術後管理、血液浄化室（透析）等において、抗凝固剤を血液中に投与した際の血液の凝固時間を測定します。



お問い合わせ先

【所在地】 〒333-0834 埼玉県川口市安行領根岸951

【連絡先】 TEL 048-282-4575 FAX 048-283-5045

<http://www.apel.co.jp/indexJ.html>

